

各 位

宮城県卓球協会  
会長 高橋 仁  
(公印省略)

令和6年度 東北ブロック審判員研修会  
(公認レフェリー・上級公認審判員更新)の開催について (ご案内)

1. 開催期日 令和6年11月10日(日)
2. 主催 公益財団法人 日本卓球協会
3. 共催 東北卓球連盟
4. 主管 青森県卓球連盟
5. 会場 青森市：アピオあおもり 2階 大研修室2  
〒030-0822 青森市中央3丁目17-1  
電話 017-732-1010
6. 日程 受付 9:15 ~ 9:30  
講義 9:30 ~ 12:20 (レフェリー・上級 共通)  
講義 13:20 ~ 15:30 (レフェリーのみ・上級の方は聴講可)
7. 申込みに関する事務手続き等
  - ①公認レフェリー・上級公認審判員更新者  
公認レフェリー・上級公認審判員資格取得者で、今年度更新の方は、別紙参加申込書(宮卓用)に必要事項を記入し、更新料を振込みの上お申し込みください。  
なお、審判手帳は当日持参し、受付に提出してください。
  - ②聴講者  
聴講希望者は、別紙参加申込書(宮卓用)に必要事項を記入し、お申し込みください。
8. 更新料
  - (1) 公認レフェリー 10,000円
  - (2) 上級公認審判員 6,000円  
注：更新年度が平成29年度以前の方は、8,000円となります。
  - (3) 国際審判員 5,000円(情報通信料)  
(国際審判員は、公認レフェリー・上級公認審判員の更新料にプラスして納入してください。)

9. 更新料 更新料は払込取扱票にて指定の口座に振り込んでください。【納入期限9月30日(月)】  
納入方法 ゆうちょ銀行振替口座 口座名：宮城県卓球協会 口座番号：02270-3-40587  
注意：通信欄に必ず氏名と〇〇〇資格更新料と記入してください。  
ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口、払込み機能付きのゆうちょ銀行のATM  
からお振り込みください。他の金融機関からの振り込みは出来ません。  
手数料は各自ご負担ください。
10. 参加費用 更新者・聴講者 2,000円(参加料)  
※当日、受付で納入してください。
11. 資料 講義に使用する資料は次の2冊を用います。  
(1) 日本卓球ルールブック2022(令和4年版) 1冊 800円  
(2) 卓球競技の審判法/審判員の手引き(2020年改訂版) 1冊 800円  
※「ルールブック」「審判法」をお持ちでない方は、申込用紙に記入し、料金は当日受付  
で納入してください。
12. 申込締切 令和6年9月30日(月) 必着
13. 申込先 所定の申込用紙に記入の上、いずれかの方法で申し込みをお願いいたします。  
①下記住所に郵送する。  
②下記記載のFAXで申し込む。  
③申し込み用紙をPDFにして、下記記載のメールアドレスで申し込む。  
(メールの場合は、受け付けました返信を行います)
- 〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2番10号1階  
宮城県卓球協会 宛  
TEL/FAX 022-233-8364
14. その他 ①駐車場は会場併設の駐車場(無料)をご利用ください。  
②無料駐車場が満車の際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。  
③釣り銭は特に準備しておりませんのでご協力ください。

☆この事業に関する問い合わせについて☆  
※問い合わせはメールでのみ受付いたします。

E-mail: [infinity\\_wanghao@yahoo.co.jp](mailto:infinity_wanghao@yahoo.co.jp)

宮城県卓球協会 審判委員会委員長 佐々 充

注：携帯電話・スマートフォンの場合は、[infinity\\_wanghao@yahoo.co.jp](mailto:infinity_wanghao@yahoo.co.jp) から  
のメールを受信できることが必要となります。

東北ブロック 公認レフェリー・上級公認審判員研修会日程

◇ 受付 9 : 15 ~ 9 : 30 (アピオあおもり)

<b>【レフェリー・上級 共通】</b>			
	9 : 30 ~ 9 : 40	10分	あいさつ 地元/JTTA講師
1	9 : 40 ~ 9 : 50	10分	① 競技役員(審判員)のコンプライアンス
2	9 : 50 ~ 11 : 05	75分	② 最近のルール改定経緯と解釈
□ 休 憩 10分 (11 : 05 ~ 11 : 15)			
3	11 : 15 ~ 11 : 30	15分	③ 審判法の主な改定点
4	11 : 30 ~ 11 : 45	15分	④ ビデオで学ぶコールエリア業務
5	11 : 45 ~ 12 : 20	35分	⑤ 練習問題 (グループディスカッション)
■ 質疑応答 10分 (12 : 20 ~ 12 : 30)			
□ 昼 休 憩 50分 (12 : 30 ~ 13 : 20)			
<b>【レフェリーのみ】 (上級の方は聴講可)</b>			
6	13 : 20 ~ 14 : 00	40分	⑥ 審判長の実務
7	14 : 00 ~ 14 : 40	40分	⑦ 練習問題1 (タイムテーブル作成)
8	14 : 40 ~ 15 : 20	40分	⑧ 練習問題2 (グループディスカッション)
■ 質疑応答 10分 (15 : 20 ~ 15 : 30)			